

平成28年度第12回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成29年3月23日（木） 午前10時
場 所 教育委員会 第一会議室

<教育長あいさつ>

平成28年度の様々な会議や事業に皆様からご協力をいただき、1年間ありがとうございました。

平成29年度の天童市学校教育の方向性についてお話しさせていただきます。これまで、「自立」「共生」「信頼」を掲げて14年間取り組んできました。しかしながら新しい時代を迎えるにあたって、次のように考えました。「信頼」について、教師の持っている奉仕の心、専門性を磨く、そして研鑽し続けるという、自分が取り組むことで信頼を得ることを大事にしていきたいということですが、当然のことと考えています。これを市として掲げて頑張っていこうということではなく、私たちの生業としていくものと思っています。よって、時代が変われば、その姿も変えていく必要があるとの考えから、「信頼」を「創造」に変えて、流行の姿を追いながら不変の価値を見出していくべきだろうと思います。

一方、「自立」「共生」については、人は自分で頑張らなければならない。でも、自分だけではやれないので、他と結びながら、他の幸福も願って進まなければならないと考え、そのまま掲げていきます。

また、市の学校教育目標の「たくましく生きる」も「挑戦し、創りだす」にしました。その前にある「命を大切にし」は残し、たくましくとはどういうことなのか。出来ないことにチャレンジすること、新たなものを創りだしていくことと考え、教育目標としました。そのためには「やめる」「なくす」「変える」も積極的に推進していく考えです。その1つとして、4月初日に教職員全員を集めることをやめました。ただし、教育委員会の考えを伝えるために、小中16校全部を訪問することとしたのです。

いじめ問題専門委員会から学んだことは大変多くありました。いじめという現象は表面的なものだということで、例えば、いじめている子の学校での立ち位置はどうか、クラスの皆から疎外されていないのか、あるいは家庭の状況に要因となるものはないのだろうかなど、根本にあるものを追求する大切さを学びました。さらに、トラブルの背景を確実につかむことで、本当の解決ができ、子どもの力を育てることが大事であることも学びました。天童市が評価を受けたのは、このようにきめ細かく取り組んでいることは、その気づき、取り組むこと自体が子ども達の無力感を解消する取り組みともなっているとの話をいただきました。大変心強く感じました。

最後に、教育委員会は力強い推進力になっていきたい。それは、学校では希望を持ってもらえるような存在でいたいといふこと。皆様のご協力をお願いいたします。

< 議 事 >

議第26号 天童市学校評議員の委嘱について

< 可決する >

審議経過

質疑なし

< 議 事 >

議第27号 天童市立公民館長の任命について

< 可決する >

審議経過

質疑なし

< 議 事 >

議第28号 平成28年度教育委員会小中学校優秀児童・生徒の褒賞について
(追加)

< 可決する >

審議経過

質疑なし

教育長：議事は以上です。委員の皆様から何かありませんか。無いようですので議事を終了します。

< 報 告 >

・山形県学力テストの結果について

教育長：他には無いようですので、第12回教育委員会会議を終了します。